

高校生の不読率（令和5年度）

〔2023年調査〕

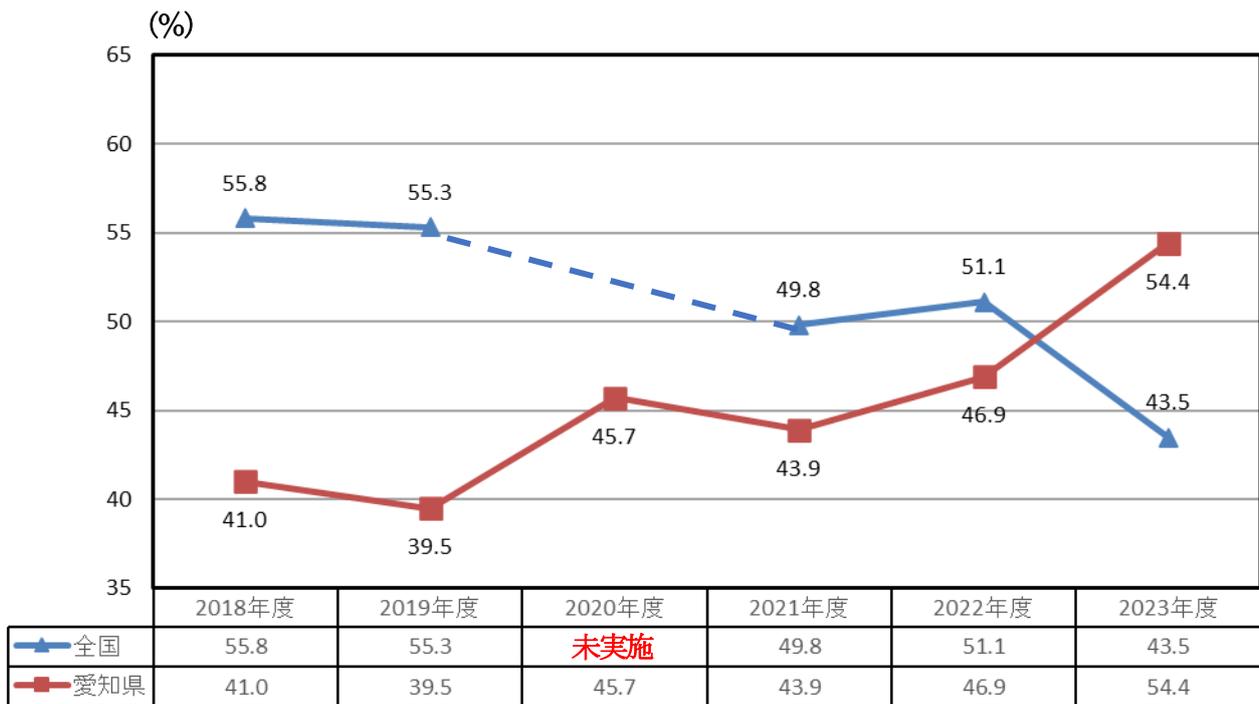
本県における子供の読書活動で取り組むべき課題の一つとして、高校生の不読率の改善が挙げられています。不読率は、1か月の間に1冊も本を読まなかった子供の割合です。愛知県教育委員会では、愛知県子供読書活動推進計画（第四次）の進捗状況を把握するため、高校生（1～3年生）の不読率の調査※を毎年実施し、現状の把握に努めるとともに改善方策を検討しています。

高校生の不読率の割合は、2021年度から上昇傾向にあり、今年度の調査では全国の不読率の割合を上回りました。また、2022年度に実施した小・中学校の不読率の調査でもいずれの校種でも不読率は上昇傾向にありました。

学校の生活様式が大きく変わってきている中で、今後はそれぞれの世代の読書状況の詳細を調査し、子供たちの生活に読書を根付かせる取組を検討してまいります。

※県教育委員会が無作為にサンプル校を抽出し、各学年1クラスで実施。小・中学校は2020、2022年度に調査を実施。

【全国と愛知県の比較】1か月間に本を1冊も読まなかった高校生の割合（不読率）

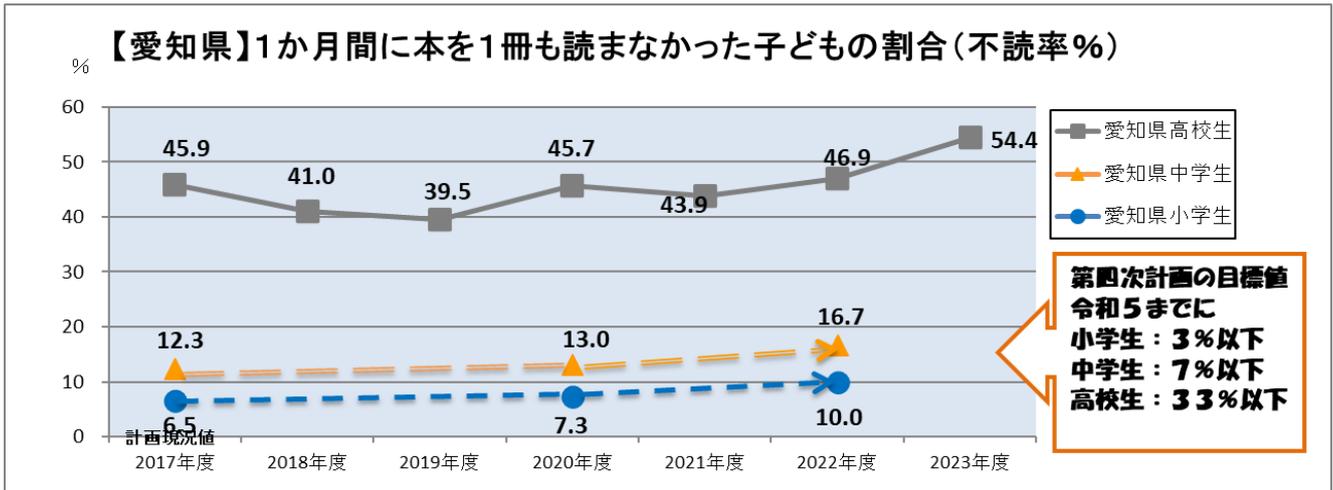


※全国の数値：学校読書調査（全国学校図書館協議会）

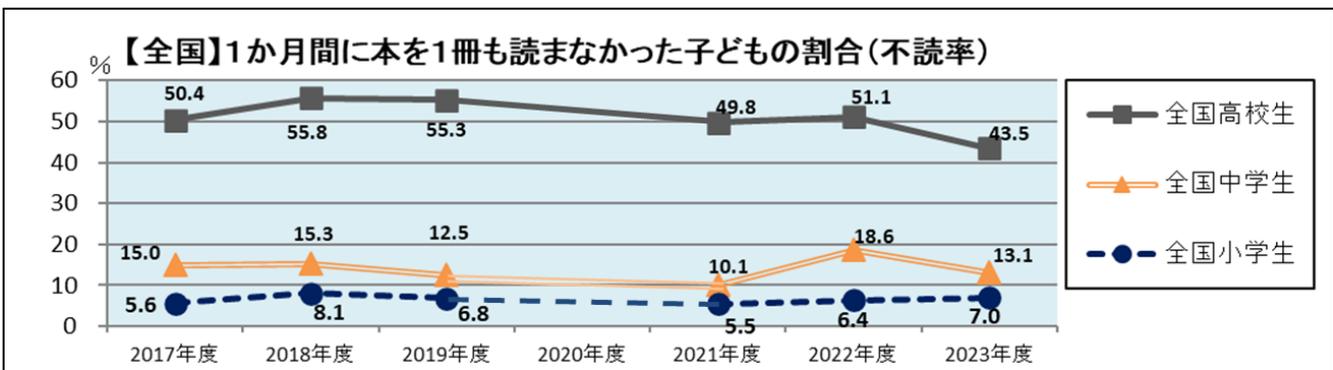
※愛知県の数値：愛知県教育委員会調査

- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症が拡大していたため、全国の調査は中止となりました。
- 令和5年度、愛知県において1か月間に1冊も本を読まなかった高校生の割合（不読率）は、前年度に比べ、7.5%上昇しました。
- 愛知県子供読書活動推進計画（第四次）で定めた令和5年までの高校生の不読率の目標数値は、33%以下です。

参考資料



※小・中学校の調査実施年度・・・2020年度、2022年度



※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、調査を中止。